

目標は「東京五輪出場」

十種の清水選手 念願の初優勝

9月12日、第84回日本学生陸上競技対校選手権の会場、大阪・ヤンマースタジアム長居を差す日はすでに西に傾いていた。十種競技ゆがめながら、最後の直線を生地上競技対校選手権の会場の最終種目1500mに出場した清水選手(情報理工4、近大高専)は顔を



1500mのゴール直前、力走する清水選手



2日間にわたり競い合った選手たちとスタンドに挨拶する清水選手(中央)

陸上は姉の影響で高専から始めた。様々な種目をやりたかった清水選手は、徐々に十種競技に興味を持ち、高専3年の冬から本格的に練習した。練習は大変だけど、マンネリ化がなくて面白い」と自分の性に合っていた。

高専5年を終え、中京大3年に編入した。工学と陸上の両方ができる環境を選んだ。「各種目に強い選手がいるし、十種の仲間も多い。日々の練習から刺激をもらっています」。中京大に進学して良かったとつくづく思う。

中京大生として初めて挑んだ昨年9月のインカレは、総合得点7358点で3位に入賞し、「陸上部の思い出で一番印象に残っている」。インカレ前の7月、棒高跳びの練習で着地に失敗し、眼窩底(がんかてい)を強く打った。大事な時期に3週間の絶対安静を余儀なくされた。万全の調子ではない中で3位は「中京大のみんなが応援してくれておかげ。大規模な声援が本当に力になった」。

佐藤真由、総合政策2、松岡采那 写真も

100背泳ぎ表彰台独占

浜松市総合水泳場で9月4日から3日間、開かれた第91回日本学生選手権水泳大会で水泳部は、惜しくも優勝は逃したものの、表彰台独占で応援席も大いに沸きあがった。

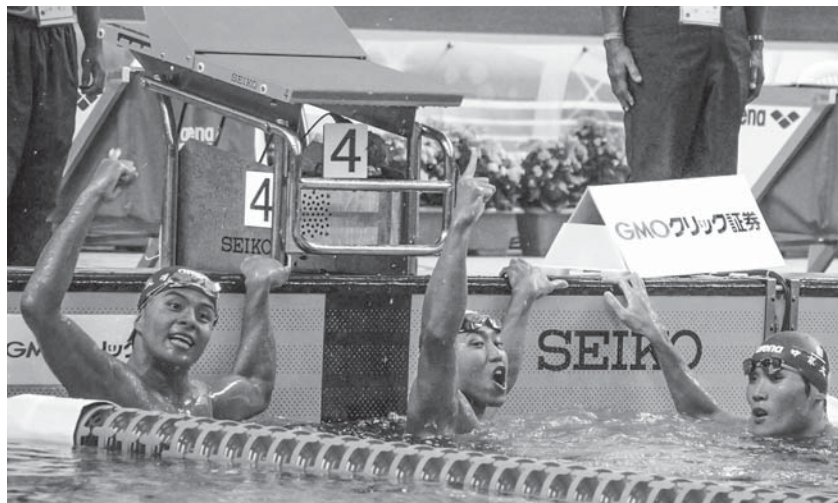
順位を「力泳した成果だが、特に最終日に行われた男子100m背泳ぎでは、中京大として33年ぶりの表彰台独占で応援席も大いに沸きあがった。

川本選手はバタフライで来年のリオ五輪を目指す。できるだけ早い時期に派遣標準をクリアしたい」と来年4月の日本選手権に照準を合わせる。江戸、長谷川選手は来春、中京大を卒業するが、「もちろんリオを目指します」とさらなるステップアップに挑戦する。

(経済)3 安藤稔平、総合政策2 出村友妃子、文

「独壇場になるのでは」と言われた明治大と互角に戦えたのは、各選手が「1点でも多く、一つでも上の

3人とも日本代表として大



100m背泳ぎ2位江戸選手(左)と、1位の川本選手(中)、3位の長谷川選手

インカレ好成績

アルティメット 女子4年ぶりV

陸上競技、水泳のほか、インカレでは各競技で好成績を残している。アルティメット部女子は全日本大学選手権(9月26日、東京・駒沢陸上競技場)の決勝戦で日体大を13対11で下し、4年ぶりの9回目の優勝を果たした。男子は5位に入賞した。

8月末に三重県伊勢、志摩市で開かれたソフトボール全日本大学選手権は、悪天候にたたられ、準決勝以降は中止となったが、男女ともベスト4に残り、中京大を含む男女各4大学が入賞となった。陸上ホッケー部女子は10月31日、11月1日に奈良県天理市で行われた

た全日本学生選手権で4年連続のベスト8となった。また、体操の全日本学生競技選手権は8月下旬に新潟県上越市で行われ、寺本明日香選手(スポーツ科2、名経大市郎)が女子個人総合優勝、団体総合は2位に入賞した。男子新体操の白井優華選手(スポーツ科3、済美)は個人総合優勝した。さらに白井選手は11月6日、8日に岐阜県モリアルセンターで開かれた全日本選手権大会で、個人総合優勝に輝いた。個人種目別では4種目すべてで優勝を果たした。

スケート部は10月17、18日に岩手県二戸市で行われた第38回日本学生ショートトラックスピードスケート選手権に、小池佑奈(スポーツ科1、岡谷南)、鈴木花

ハンドボール男子8強

ハンドボールの全日本学生選手権は11月7日から北海道函館市で開かれ、男子は第3日の準々決勝で日

本大に19対22と惜敗し、ベスト8に終わった。

男子は堅いディフェンスから速攻を繰り出す攻撃力が冴え、夏の西日本イン

目標があれば、やり通せる



1981年中京大学体育学部卒業。85年中京大学大学院修士課程修了。63歳。台湾・台北市立大学体育教育学科教授。2008年中華台北オリンピック出場。陸上競技の指導者として活躍。現在は中京大学で学生指導に当たっている。

先輩NOW

前・台北市立大学体育学院教授 陳進龍さん

「目標があれば、たとえ苦しくても最後までやり通すことができる」。こう言っている陸上競技場から見上げた先には、夏の日を受けた豊田キャンパスの校舎群が白く輝いていた。

今年7月下旬、陸上競技の台湾ナショナルチームの男子短距離選手とコーチ陣を引率して母校を訪れた。昔に比べると、校舎の数が増えましたが、陸上競技と勉強に明け暮れた留学時代に思いをはせていた。

中京大の2年生に編入したのが1978年4月。陸上競技を続け、学上の学位を取るためだった。中京大は古くから台湾との交流があった。後に台湾のスポーツを教えた陳全寿教授が在籍していたこともあり、留学先に中京大を選んだ。

中学生の時、走り高跳びを始め、台北体育専門学校で十種競技に取り組んだ。72年のミュンヘンオリンピックには走り高跳びの選手として出場。しかし、まだ二十歳で、田舎ボーイでした。訳も分からず終わってしまった。

(現代社会2 佐藤真由、文2 広橋里穂子)

歩(総合政策1、菊華)両選手が、出場、学校対抗で5位入賞した。

本大に19対22と惜敗し、ベスト8に終わった。

男子は堅いディフェンスから速攻を繰り出す攻撃力が冴え、夏の西日本イン

本大に19対22と惜敗し、ベスト8に終わった。

男子は堅いディフェンスから速攻を繰り出す攻撃力が冴え、夏の西日本イン

先生に問う



回答者 中山恵子・経済学部教授(経済理論)

質問 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まり、オリンピックの規模や経済との関係に興味を持ちました。オリンピックの経済効果とはどのような方法で計算するのでしょうか。(経済学部3年 安藤裕平さん)

五輪経済効果、前提に目を

2013年IOC総会で2020年夏季オリンピックの開催都市が東京に決定した。その前後から、政府、地方自治体、企業やシンクタンクがオリンピックの経済効果を相次いで公表している。経済効果とは、ある現象が特定の国や地域に及ぼす影響を金額表示したもので、国内経済において1年間に行われた財・サービスの産業間取引を行列表示した産業連関表という統計表に基づいて試算される。わが国の産業連関表は総務省が中心となり5年ごとに作成されているが、各自治体でも独自に当該地域の産業連関表を作成している。経済効果は水面に投げ込まれた石が次々に波紋を起こすように、ある現象の影響が多方面に及ぶため、経済波及効果と呼ぶのが一般的である。経済波及効果は、直接効果と間接効果に、さらに間接効果は、第一次間接効果と第二次間接効果に分類され、これら直接効果と間接効果の合計は総合効果として扱われる。例えば、東京都がオリンピック招致の際に試算した経済効果は2兆9,400億円、その内訳は直接効果が1兆3,000億円、第一次波及効果が約9,900億円、第2次波及効果が約6,500億円であった。しかし、一口に東京オリンピックの経済効果といっても、その金額は公表主体によって大きな開きがある。それは、計算の前提としてどのような需要を取り入れるのか、第二次波及効果を考慮するか、対象としている現象の事前もしくは事後の期間を扱うのか、扱うとしたらどの程度かなどによるものである。極端に言えば、恣意的な思惑を反映することは十分、可能である。産業連関表を用いた経済効果は、オリンピックに限らず、われわれの判断基準として非常に有用なものであるが、反面、試算の金額を鵜呑みにせず、試算方法やその前提にも目を向ける姿勢が必要である。

脳画像に選手の成長

荒牧教授「アスリート・ブレイン・バンク」に蓄積

学生アスリートたちの脳の画像が、スポーツ科学部の荒牧教授のパソコンに大量に蓄積されている。スポーツと脳との関係を研究するため、荒牧教授がこの4年間にMRI(磁気共鳴画像装置)で撮りためた「アスリート・ブレイン・バンク」だ。



中村選手(右)の脳画像の様子を本人に説明する荒牧教授

脳画像は陸上競技、ハンドボール、アメリカンフットボール、卓球などの部員約300人分になる。標準的な脳と比べてみると、脳の構造や発達する部位が

水泳部の日高郁弥選手(スポーツ科4、佐賀学園)は、愛媛県公立学校の教員採用試験に合格し、来春から県立高校の教壇に立つことが決まった。スイミングクラブに通っていた中学生の頃、小学

公立学校の教員採用試験に現役合格したスポーツ科学部の学生は今年度40人(11月10日現在)になる。このうち、体育会クラブで活動しながら合格した学生は15人。スポーツと勉学を両立した学生たちだ。

競技によって違いがあった。競技力の向上や人間的な成長が、脳の発達と深く関わっていることもわかってきている。逆に、脳の構造から、競技の向き不向きを推測できる可能性も出てきた。

荒牧教授は「トレーニング選手は従来以上に積極的な姿勢を示す脳の部位が大きく変化していく。研究が進めば、試合本番に強い脳にできる可能性もある」と話している。

脳には「やる気」に関する部位もあるが、中村選手は従来以上に積極的な姿勢を示す脳の部位が大きく変化していく。研究が進めば、試合本番に強い脳にできる可能性もある」と話している。

教員現役合格15人 文武両道完遂

9月のインカレで、逆に自信を深められた。「リオ五輪の派遣標準を狙いますよ。来春には、先行しながら7位に終わって、指導者と競技者の両立を目指す人生が待っている。」(経済3 安藤裕平)



来春に教員になる日高選手(総合政策2 松岡采那撮影)

バスケット女子3人 中学校教師に



バスケットボール部の(左から)河野、水野、畠山選手

女子バスケットボール部の3人が、愛知県公立学校の教員採用試験に合格した。3人の当面の目標は、11月23日から東京で行われるインカレでのベスト8入り。『夢だった』という全日本選手権出場権の獲得を目指す。

女子バスケットボール部の3人が、愛知県公立学校の教員採用試験に合格した。3人の当面の目標は、11月23日から東京で行われるインカレでのベスト8入り。『夢だった』という全日本選手権出場権の獲得を目指す。

硬式野球4季ぶり優勝

硬式野球部は愛知大学野球秋季リーグ戦で、4季ぶりの35回目の優勝を果たした。リーグ初戦を落としたが、その後10連勝で他の5チームすべてから勝ち点を挙げる完全優勝だった。春季リーグで惜しくも優勝を逃したが、夏場に心身の強化を徹底した。その結果、特に打線のレベルアップには目を見張るものがあった。秋季リーグのチーム打率は3割を超え、

女子の場合、部員60人が

女子の場合、部員60人が名古屋、豊田両キャンパスに分かれているため、週4回の練習はキャンパス別に行うことが多い。合同練習はナイター施設が利用できる金曜日と休日のみ。その分、「一回一回集中してやっている」(國保主将)。「走るラクロス」を掲げ、体力トレーニングを欠かさずに基礎体力を付け、試合中走り続ける。相手ディフェンスを抜き去る突破力が大きな武器だ。國保主将は「たくさんの人に見てほしい」と笑顔を見せた。(現代社会2 佐藤真由)



女子の場合、部員60人が名古屋、豊田両キャンパスに分かれているため、週4回の練習はキャンパス別に行うことが多い。合同練習はナイター施設が利用できる金曜日と休日のみ。その分、「一回一回集中してやっている」(國保主将)。「走るラクロス」を掲げ、体力トレーニングを欠かさずに基礎体力を付け、試合中走り続ける。相手ディフェンスを抜き去る突破力が大きな武器だ。國保主将は「たくさんの人に見てほしい」と笑顔を見せた。(現代社会2 佐藤真由)

大切にしていきたい(畠山さん)。「夢のある子、夢の持てる子を育てたい(水野さん)」と、教師としての目標を胸に、子供たちとともに夢の実現を目指す。ラクロス男女1部昇格「部」で2年目の快挙 ラクロス部女子は今季、東海2部リーグを8戦全勝で終え、来季の1部昇格を決めた。男子も2部で2位だったものの、10月24日の入れ替え戦で1部5位の信州大を破り、来季の一部入りを決めた。ともにサークルから部に昇格して2年目の快挙だ。女子の國保あいら主将(スポーツ科4、四日市南)は「写真は『今後は1部の常連として、戦ってほしい』と後輩に思いを託した。」

インカレに燃える



相手の外国人大型選手にも負けずにシュートを放つ出口選手 (10月17日、秋季リーグ最終の名古屋学院大戦で)

バスケット男女 目標は8強

バスケットボール部は男女とも11月23日から、東京・代々木第二体育館などで開かれる全日本大学選手権に出場する。ともに目標を、全日本選手権への出場に置いておられる。出口選手(スポート)は「練習の成果が出てきている」と手応えを感じている。花奈主将(スポート)は「練習の成果が出てきている」と手応えを感じている。花奈主将(スポート)は「練習の成果が出てきている」と手応えを感じている。

サッカー スケート 空手道 出場決める

サッカー部は、東海学生リーグで優勝を逃したものの、3位に入り、12月8日から関東地区で行われる全日本大学選手権への出場を決めた。

朝倉吉彦監督は「今年は総理大臣杯サッカーに出場するなど、いいサッカーができていたので最後まで諦めずと締めくくりたい」と上位進出を狙っている。

スケート部は、フィギュアスケート西日本インカレで男女とも2位に入り、来年1月4日から栃木県で行われるインカレへ出場する。男女とも連覇がかかっており、選手たちは「完成度の高い演技を披露したい」と練習に取り組んでいる。

また、空手道部は今年23日から大阪で開かれる全日本大学選手権大会に男女とも組手、形の両種目で出場する。



力強いスパイクを決める中村選手

バレー男女は 日本一を目指す

バレーボール部は11月30日開幕(男子・東京、女子・愛知)のインカレで男女ともに学生日本一を目指す。男子は全勝優勝を目指す。連勝の後、名城大、愛知学院大にフルセットの末、敗れて3位に終わった。いずれも勝てるチャンスをつかみ切れなかった惜しい試合だ。

Chukyo's COACH

フェンシング部 尾矢 晃監督



精密機械工場と総合商社を経営する傍ら、JOC(日本オリンピック委員会)のオリンピック強化コーチ、日本フェンシング協会強化委員の要職を務めている。忙しい日々の中で、できる限り(練習場に)顔を出し、学生とマンツーマンでレッスンをしている。「フェンシングの指導者はレッスンが出来なくなったら終わりだと思う。選手たちと剣を交え、選手たちと同じように汗を流す。だから勝つと嬉しいし、負けると悔しい」。試合会場でもト

選手と一緒に汗を流す

自らも競技に接したのは高校2年。1984年に国体開催の古里・奈良県には80年頃までフェンシングをやる高校がなかった。国体に向けて県は、尾矢監督の母校、西ノ京高校など3校に部を設けたが、指導教員は3年進級の時にようやく赴任した。球技など他の競技はすべて思い通りにでき、体育の成績もずっと5でした」というスポー

ツマンも、さすがに試合で全く勝てなかった。そこは負けず嫌い。「むきになって頑張った」。秋の西日本大会でフルレとエペでベスト4に入るまでに。その頑張りや情熱は指導者になった今も変わらない。

フェンシングは、太田雄貴選手が北京五輪で銀メダルを獲得し、2020年東京五輪招致のプレゼンターにも携わったことで近年、脚光を浴びるようになった。とはいえ競技人口はまだ少なく、中大フェンシング部も現在男子7人、女子9人の計16人。団体戦ともなると、フルレ、エペ、サーブルと、3種目を掛け持ちする選手もいる。

部員が少ないながらも、女子が1昨年にエペ団体日本一となり、今年も関西リーグで優勝するなど、常に上位を維持している。その実力はフェンシング関係者の認めるところだ。「ぜひ、我が部の門をたたいてほしい。絶対に強くなって見せますよ」。熱い指導者魂がたぎっている。

チアリーディング部 練習に熱入る



大体育館で練習するチア部員たち

豊田キャンパスの大体育館にひと際高い声が響き渡っている。チアリーディング部の第27回全日本学生選手権(国立代々木競技場)に進出できるのは12校だ。中大は昨年、創部初めに決勝ラウンドに進んだ。そこでは最下位だったが、梅屋舞花主将(スポート)は「目標は日本一です。来年は全勝優勝を目指します。来年は全勝優勝を目指します。来年は全勝優勝を目指します。」と話していた。(現代社会4)